

糖尿病は怖くない時代へ

③



「魚肉ソーセージ入りの値を自己測定する人が少
パン2切れを食べた30分
なくない。
後に血糖値は167mg/dl、1時間後には207
で血糖値を上げるのか、
まで上がった。ご飯に
その上昇カーブを緩やか
味噌汁、納豆、生卵、サ
にするためにはいつ運動
ラダだと2時間後に18
0——。
糖尿病を心配する人の
「しんクリニック」院長
中には食事のたびに血糖
の辛浩基氏が言う。

痛みがわずかな

自己血糖測定器

登場

「糖尿病が怖いのは心筋梗塞や脳卒中などの合併症です。その原因になるのが食後の過血糖。食事量を多く測定しやすいとすれば誰でも血糖は上半面、強い痛みがあるがりますが、インスリン刺す場所が限られるため、皮膚が硬くなる、針痕からの感染症への懸念など、問題も多かった。ところが、それが異常なと血糖値が上がった状態が続き、活性酸素が発生し、血管に酸化ストレスが加わり、動脈硬化が進むなど、血管にダメージを与え、血糖値の自己測定は回避に有効です」

しかし、従来の自己血糖測定器は指先に針を突点、少ない場所での測定は、安定した腎性貧血改善効果が確認されたばかりでなく、腎機能そのものの寿命を延ばす働きがあることだ。

「海外で複数の論文が出ている患者さんの場合、68歳のインスリンを打っている患者さんの場合、クレアチニン値（腎機能を知るマーカー、基準値男性0.6~1.1）が3、ヘモグロビン値（基準値男性13~16）が9の段階でミルセラを使ったところ、前者が2.7、後者が11.2へ改善、タンパク尿も半減し、むくみもとれて半年維持しています。通常、糖尿病腎症は何をやっても改善しないといわれていますが驚きです」（辛院長）

糖尿病治療の進歩は日進月歩。勉強している医師のところに通えば、寿命は確実に延ばせるの

腎臓を保護する注射薬も

以前、糖尿病患者の人工透析を遅らせたり、回避させられる血圧の薬をエチンが促すエリスロポエチン（辛院長）の治療薬にも同様な効果があるという。

「糖尿病になると腎臓の機能が低下し、腎性貧血を起こし、最終的に人工透析を強いられます。その透析を強いられます。その

「糖尿病になると腎臓の機能が低下し、腎性貧血を起こし、最終的に人工透析を強いられます。その透析を強いられます。その

「糖尿病になると腎臓の機能が低下し、腎性貧血を起こし、最終的に人工透析を強いられます。その透析を強いられます。その